

事業番号	10 05 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	CSF緊急対策事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室	
		実施期間	R1～	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	様々な人の労働参加を全国トップに					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】
	・2019年7月、木曾地域で野生イノシシへの豚熱ウイルス感染が確認されて以降、1か月で南信州地域、松本地域でも感染されるなど、急速な広がりを見せており、2021年5月時点の豚熱検査対象市町村は51市町村にのぼる。（R3.5.26現在、1,215頭CSF検査中、268頭で豚熱陽性反応）
	【目指す姿】
	野生イノシシは、豚熱ウイルスに感染する唯一の野生鳥獣であり、ウイルスを体内で増殖させながら、自由に移動することによって感染地域を急速に拡大させるため、地形を利用して設定した防衛ラインにより移動を抑制し、感染イノシシを封じ込めることにより、未感染地域へのウイルス拡散を防止することで、養豚場でのウイルス侵入防止対策を補完する形で感染リスクの低減を目指す。
【実施内容】	防衛ライン（5カ所）に該当する猟友会支部による捕獲活動及びくくりワナ設置、消毒資材の配付、市町村への埋設支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No.	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度		目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)		R1年度	R2年度
																	前年度繰越	0	0	
																	現計予算	90,690	66,300	
																	合計(A)	90,690	66,300	
																	うち一般財源	90,690	33,151	
																	決算額(B)	86,190	59,873	
																職員数(人)	3	3		

成果指標設定理由	各防衛ラインが十分に機能し、陽性イノシシの封じ込めが確実にできているか進捗を確認、評価できるため
達成状況の分析	防衛ラインにより豚熱陽性イノシシを感染地域に封じ込め、県内での豚熱ウイルスのまん延を防止したことで、令和2年度に養豚場における豚熱発生は0件だった。令和2年度末で養豚農場の防疫体制の整備が完了したため、事業完了とする。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 野生イノシシの拡散防止 <ul style="list-style-type: none"> ・地形的に重要な場所(防衛ライン)5カ所において、イノシシに対する捕獲活動による封じ込めを実施 ✓ 狩猟者による交差汚染防止 <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲において、消毒による交差汚染防止対策を講じ、豚熱ウイルスの感染地域拡大を防ぐ。 	 <p>豚熱(CSF)感染状況マップ</p>
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	豚熱の清浄化に向けては、イノシシの抗体保有の促進とともに個体数の低減を図る必要があるが、耕作放棄地や河畔林等生息(繁殖)に適した場所が増加している。	「生息環境対策」を主軸とし、「侵入防止対策」、「捕獲」を組み合わせた総合的な獣害対策を実施する。

事業番号	10 05 03	細事業一覧（令和2年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	C S F 緊急対策事業	部局	林務部	課・室 鳥獣対策・ジビエ振興室

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	C S F 緊急対策事業		86,190 千円	59,873 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	野生イノシシ拡散防止事業	直接	野生イノシシの豚熱対策で、地形的に重要な場所(防衛ライン)において、イノシシに対する捕獲活動による封じ込めを行う。	
2	交差汚染防止事業	直接	有害鳥獣捕獲において、消毒による交差汚染防止対策を講じ、豚熱ウイルスの感染地域拡大を防止する。	